

② 生物基礎・生物の項目を基準とした対応

学習指導要領					DP Biologyの対応項目					他科目との対応	
	単元名			内容の取扱い	Standard	AHL	Option	Option AHL	備考欄		
生物基礎	(1) 生物と遺伝子	ア	生物の特徴	(ア) 生物の共通性と多様性	生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。	5.3					
生物基礎	(1)	ア		(イ) 細胞とエネルギー	生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。		8.1				化学(5)ア(イ)(イ)で一部学習
生物基礎	(1)	イ	遺伝子とその働き	(ア) 遺伝情報とDNA	遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解すること。	3.1					化学(4)ア(ア)(イ)と一部学習
生物基礎	(1)	イ		(イ) 遺伝情報の分配	DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解すること。		7.1				
生物基礎	(1)	イ		(ウ) 遺伝情報とタンパク質の合成	DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解すること。		7.2,7.3				
生物基礎	(2)	ウ	生物と遺伝子に関する探究活動								
生物基礎	(2) 生物の体内環境の維持	ア	生物の体内環境	(ア) 体内環境	体内環境が保たれていることを理解すること。	6.6					
生物基礎	(2)	ア		(イ) 体内環境の維持の仕組み	体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解すること。	6.6					化学(4)ア(ア)(イ)で一部学習
生物基礎	(2)	ア		(ウ) 免疫	免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解すること。	6.3					
生物基礎	(2)	イ	生物の体内環境の維持に関する探究活動	(ア)							
生物基礎	(3) 生物の多様性と生態系	ア	植生の多様性と分布	(ア) 植生と遷移	陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。	4.1		G1			
生物基礎	(3) 生物の多様性と生態系	ア	植生の多様性と分布	(イ) 気候とバイオーム	気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。	4.1		G1			
生物基礎	(3)	イ	生態系とその保全	(ア) 生態系と物質循環	生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解すること。			G2			
生物基礎	(3)	イ		(イ) 生態系のバランスと保全	生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。			G4			
生物基礎	(3)	ウ	生物の多様性と生態系に関する探究活動	(イ)							
生物	(1) (1)生命現象と物質	ア	細胞と分子	(ア) (7) 生体物質と細胞	細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解すること。(1)生命現象とタンパク質 様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解すること。	2.1~4					
生物	(1)	イ	代謝	(ア) 呼吸	呼吸によって有機物からエネルギーが取り出される仕組みを理解すること。	2.8	8.2				
生物	(1)	イ		(イ) 光合成	光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられる仕組みを理解すること。	2.9	8.3				
生物	(1)	イ		(ウ) 窒素同化	窒素同化について理解すること。		8.3				
生物	(1)	ウ	遺伝情報の発現	(ア) 遺伝情報とその発現	DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解すること。		7.2				
生物	(1)	ウ	遺伝情報の発現	(イ) 遺伝子の発現調節	遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を理解すること。		7.2				
生物	(1)	ウ	遺伝情報の発現	(2) バイオテクノロジー	遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解すること。	3.5					
生物	(2) 生殖と発生	ア	有性生殖	(ア) 減数分裂と受精	減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的な組合せが生じることを理解すること。	3.3	10.1 11.4				
生物	(2)	ア		(イ) 遺伝子と染色体	遺伝子の連鎖と組換えについて理解すること。	3.3	10.1				
生物	(2)	イ	動物の発生	(ア) 配偶子形成と受精	配偶子形成と受精の過程について理解すること。						
生物	(2)	イ		(イ) 初期発生の過程	卵割から器官分化の始まりまでの過程について理解すること。						
生物	(2)	イ		(ウ) 細胞の分化と形態形成	細胞の分化と形態形成の仕組みを理解すること。						
生物	(2)	ウ	植物の発生	(ア) 配偶子形成と受精、胚発生	配偶子形成と受精及び胚発生の過程について理解すること。						
生物	(2)	ウ		(イ) 植物の器官の分化	被子植物の器官の分化の過程について理解すること。						
生物	(3) 生物の環境応答	ア	動物の反応と行動	(ア) 刺激の受容と反応	外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応する仕組みを理解すること。	6.5					
生物	(3)	ア		(イ) 動物の行動	動物の行動刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解すること。				A.4		

学習指導要領					DP Biologyの対応項目					他科目との対応	
	単元名			内容の取扱い	Standard	AHL	Option	Option AHL	備考欄		
生物	(3)		イ	植物の環境応答 (ア) (7) 植物の環境応答	植物が環境変化に反応する仕組みを理解すること。		9.4				
生物	(4)	生態と環境	ア	個体群と生物群集 (ア) 個体群	個体群とその変動について理解すること。	4.1		C.1			
生物	(4)		ア	(イ) 生物群集	生物群集の成り立ちについて理解すること。	4.1		C.1			
生物	(4)		イ	生態系 (ア) 生態系の物質生産	生態系における物質生産とエネルギー効率について理解すること。	4.2 4.3					
生物	(4)		イ	(イ) 生態系と生物多様性	生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識すること。			C4			
生物	(5)	生物の進化と系統	ア	生物の進化の仕組み (ア) 生命の起源と生物の変遷	生命の起源と生物進化の道筋について理解すること	5.1					
生物	(5)		ア	(イ) 進化の仕組み	生物進化がどのようにして起こるのかを理解すること。	5.2					
生物	(5)		イ	生物の系統 (ア) (7) 生物の系統	生物はその系統に基づいて分類できることを理解すること。	5.3 5.4					